

作品認定制度 申請作品統計データ／映適取引ガイドラインの達成状況

対象：23年4月1日～25年3月31日の期間内にクランクアップした申請作品
本数：計93作品（A区分73作品／B区分7作品／C区分13作品）

A区分＝制作費 1億円超
B区分＝制作費 1億円以下
C区分＝制作費 5千万円以下

【撮影時間と休日取得数】

申請区分		全体	A区分	B区分	C区分
撮影時間	1日平均	8時間49分	8時間42分	10時間21分	10時間08分
	1週平均	43時間47分	43時間05分	54時間23分	49時間50分
休日	1週平均	2.04日	2.05日	1.75日	2.09日
		93作品	73作品	7作品	13作品

撮影期間		全体	10w以上	6w～9w	5w以下
撮影時間	1日平均	8時間49分	8時間06分	8時間23分	9時間43分
	1週平均	43時間47分	35時間56分	42時間25分	50時間17分
休日	1日平均	2.04日	2.57日	1.94日	1.83日
		93作品	10作品 ※配信ドラマ除く	38作品	40作品 ※短編除く

【達成率／撮影時間・インターバル・休日】

申請区分		全体	A区分	B区分	C区分
撮影11H以内		76.8%	77.7%	69.4%	64.2%
インターバル		77.3%	76.1%	90.9%	88.4%
休日		94.3%	93.9%	100.0%	96.7%
		93作品	73作品	7作品	13作品

撮影期間		全体	10w以上	6w～9w	5w以下
撮影11H以内		76.8%	84.4%	79.7%	71.8%
インターバル		77.3%	88.4%	75.5%	85.8%
休日		94.3%	94.1%	92.1%	94.5%
		93作品	10作品 ※配信ドラマ除く	38作品	40作品 ※短編除く

- (1) 1日あたりの平均撮影時間は8時間49分（※映適取引ガイドラインで定める1日の撮影時間の上限は11時間）
➡ 一方で撮影11時間以内の平均達成率は76.8%となっており、作品毎の遵守状況にばらつきがある。
➡ 制作費が低い or 撮影スケジュールが短い作品の方が1日あたりの平均撮影時間が長い傾向にある。
- (2) 1日の撮影時間が11時間を超えた場合のインターバル取得達成率は77.3%
➡ 作品毎の遵守状況にはばらつきがある。
- (3) 1週間あたりの平均休日取得数は2.04日
➡ 休日の取得達成率は94.3%となっており、概ね遵守できている作品が多い。

【本隊と準備・支度班の実働時間】

※A区分作品73本のうち、データの記載があった作品のみを対象として集計

実働時間(A区分)		本隊	準備・支度班
出発～撮影開始	1日平均	1時間38分	2時間26分
出発～帰着	1日平均	11時間09分	12時間21分

＊帰着時間は1日あたりの平均撮影時間8時間49分＋(出発～撮影開始)×1.5で撤収時間を推測したうえで計算

- (1) 出発～撮影開始までの平均準備・移動時間／本隊 1時間38分 準備・支度班 2時間26分
- ➡本隊と準備支度班の差は48分となっており、準備・支度班の撮影外での負担が大きい。
- (2) 出発～帰着までの時間(＝移動を含めた実拘束時間)／本隊 11時間09分 準備・支度班 12時間21分
- ➡映適取引ガイドラインでは準備・撤収のみなし(移動時間除く)を含めて1日13時間以内と定めており、この範囲に収まっている。

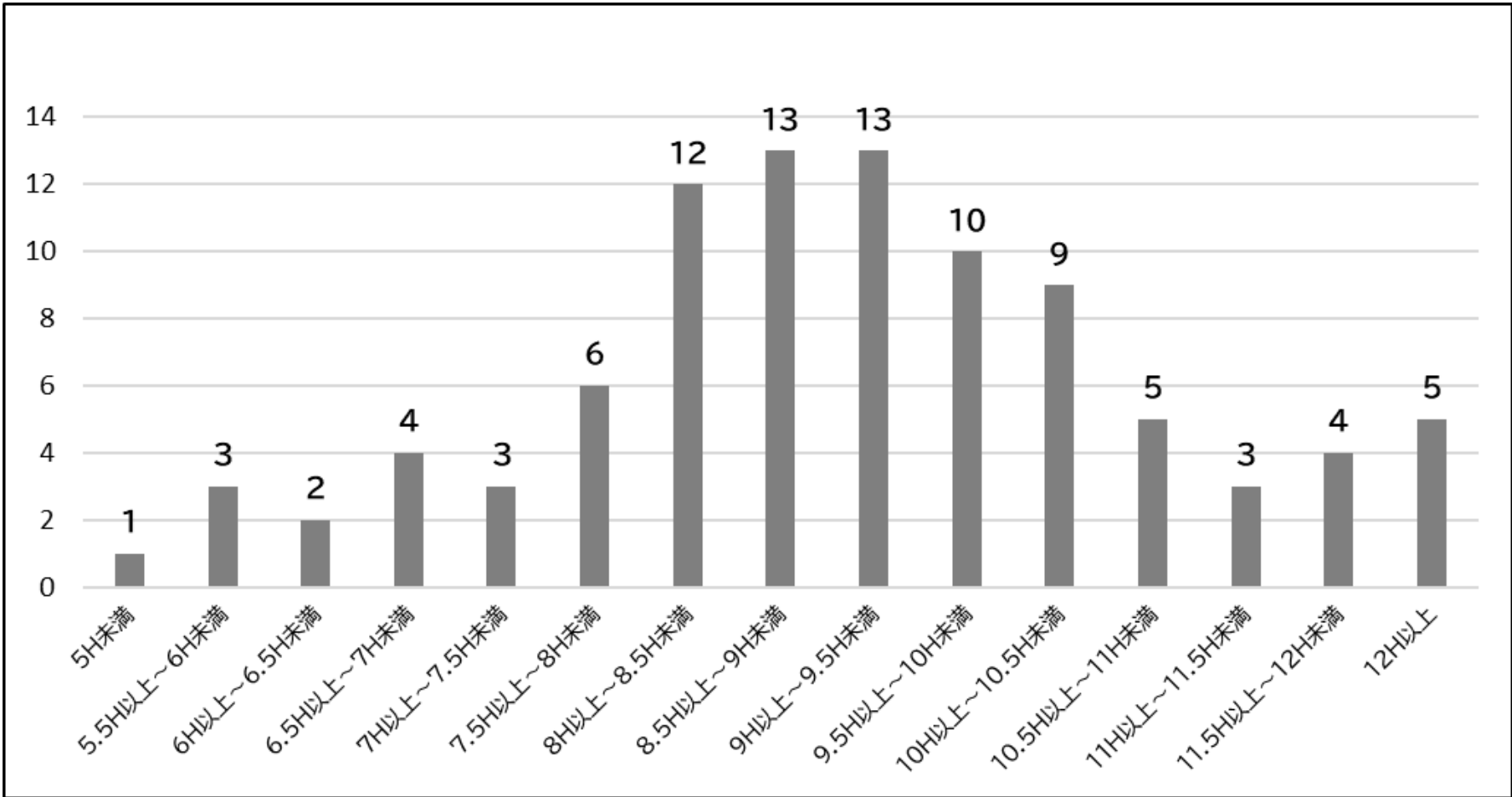
【撮影時間／撮影形態別】

※A区分作品73本のうち、データの記載があった作品のみを対象として集計

実働時間(A区分)		全体	日帰りロケメイン	宿泊ロケメイン	スタジオメイン
撮影時間	1日平均	8時間49分	9時間02分	8時間13分	8時間27分

- (1) 日帰りロケメイン作品の1日あたりの平均撮影時間は9時間02分
- ➡宿泊ロケメイン、スタジオメインの作品に比べて現場の負担が大きい撮影であることが読み取れる。
- ➡日帰りロケメインの作品の方が予算が少ない、など他の要因の可能性もあり。

【1日あたりの平均撮影時間／ヒストグラム】



- (1) 1日の平均撮影時間で多いのは8時間～10時間の範囲で全体のうち半数以上を占める
- ➡一方で平均撮影時間が11時間を超える作品もあり、遵守状況にはばらつきがある。